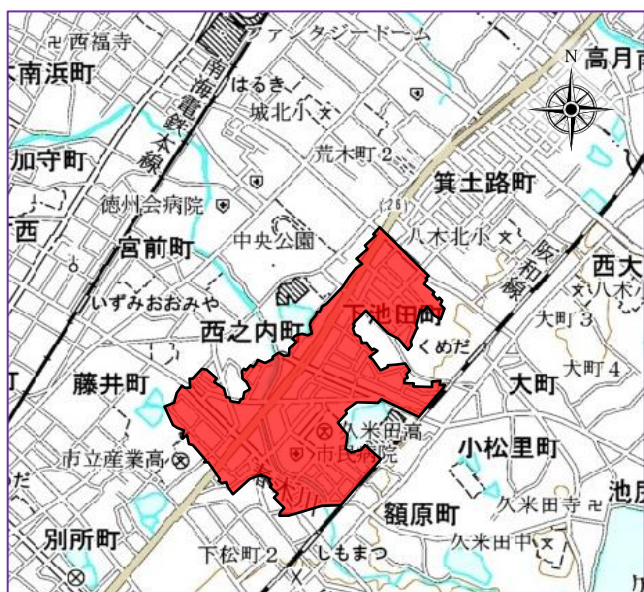


施 行 者 : 岸和田市長
 施行面積 : 76.82ha
 施行期間 : 昭和50~平成14年度
 総事業費 : 約13,786百万円
 減 歩 率 : 21.11% (公共21.11%)
 計画人口 : 約7,700人

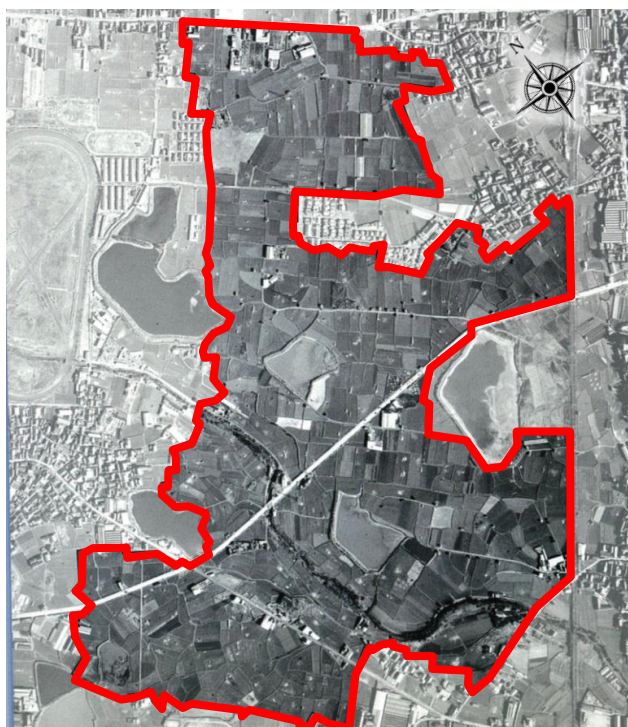
都市計画決定 : 昭和50年11月25日
 事業計画認可 : 昭和53年3月23日
 仮換地指定 : 昭和55年9月8日
 換地処 分 : 平成14年11月12日

本地区は、岸和田市荒木町、下池田町、小松里町、額原町、下松町、西之内町の各一部を含む約76.82haの地区である。また、JR阪和線と南海本線の間位置し一部が阪和線に接しており、北部は府道春木大町線、南部は岸和田産業高校に至る。国道26号線（第二阪和国道）の建設に伴い、この沿線を中心とした急速な宅地化が予想され、都市計画道路「春木久米田線」「岸和田中央線」「大宮常盤線」等の整備改善とともに、公共施設の整備改善を行い、土地の利用増進を図り調和のとれた市街地を築くものである。

▼位置図



▼航空写真（施行前：昭和50年頃）



▼土地利用内訳

	施行前		施行後	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
公共用地	8.61	11.21	23.01	29.95
宅 地	68.21	88.79	53.81	70.05
合 計	76.82	100.00	76.82	100.00

▼航空写真（施行後：平成14年頃）

